（参考様式）

令和４年度　百合丘高等学校学校 年間指導計画

教科・科目	芸術・書道Ⅲ	学年	第3学年	教科書	東京書籍「書道Ⅲ」
		単位数	2単位	副教材	

学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
学習方法	○古典の臨書から多彩な表現を楽しみましょう。 ○古典の臨書から倣書、創作へ展開しましょう。 ○心に響く言葉や自分の思いを表現しましょう。

学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	書の関心・意欲・態度	書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
b	書表現の構想と工夫	書のよさや美しさを感じ取り、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。
c	創造的な書表現の技能	創造的な書表現をするために、効果的な表現の技法を身に付け表している。
d	鑑賞の能力	日常生活の効用や書の伝統と文化について理解し、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

学期	内容のまとまり	時数	単元（題材）	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
前期	漢字仮名交じりの書	28	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書の比較	○				a漢字仮名交じりの書の作品に関心を持ち、表現効果を味わっている。 b効果的な書体や構成を工夫し制作する。 c効果的な用具・用材を選ぶ。 d作品から、個性や美しさを感じ取っている。	・学習状況ファイル ・作品 ・プリント
				自己表現の工夫		○	○			
				構成と展開の研究		○	○			
				イメージに合った表現				○		
			生活の中の書	生活を彩る書				○		
後期	漢字の書	30	漢字の書	古典の臨書・鑑賞	○	○	○	○	a古典の表現の技法に関心を持ち、その美を味わおうとしている。 b古典の書風を捉え、工夫して表現している。 c古典の線質・字形・全体構成など、表現の技能を習得している。 d古典を分析し、古典の多様な美を感じ取っている。	・学習状況ファイル ・作品 ・プリント
				創作	○	○	○	○		
	仮名の書	6	仮名の書	古典の臨書・鑑賞	○		○	○	a古典の表現の技法に関心を持ち、その美を味わおうとしている。 c古典の線質・字形・全体構成など、表現の技能を習得している。 d古典を分析し、古典の多様な美を感じ取っている。	
合計時数(○分授業)		64								